

2008年11月28日

東京地方裁判所事務局総務課長 ■■■■■ 殿

拝啓

この度、10月31日付でお送りした手紙に追伸があり、ご連絡致しました。実は、11月18日(火)に中野サンプライトクリニックで診察を受けました。医師は口腔内炎症と診断致しました。10月末から、口の中に出来物ができました。当初は、単に口の中が切れて痛いのではないかと、放っておきました。ところが、良ならず、つばを飲むと喉が痛くなるくらいに悪化しました。偶然にも友人が「口内炎では？」と教えてくれ、すぐに病院に行くと、その通りでした。今まで口内炎になったことがないため、ずっと気づかなかったのです。

原因は、ストレスだと確信しています。東京地方裁判所から10月28日付けでいただいた手紙が自分で気づいている以上にショックだったのです。かつ裁判の反論期間中であったため、ストレスも重なりました。医師は、風邪とは違うと言っていました。

診断書のコピーを送付致します。東京地方裁判所の対応を前回の手紙と合わせてご検討下さい。よろしく願い申し上げます。

敬具

〒164-0012

東京都中野区本町 2-20-13-14

03-3373-7230

竺原光江